

桐 和

KIRIBIYORI



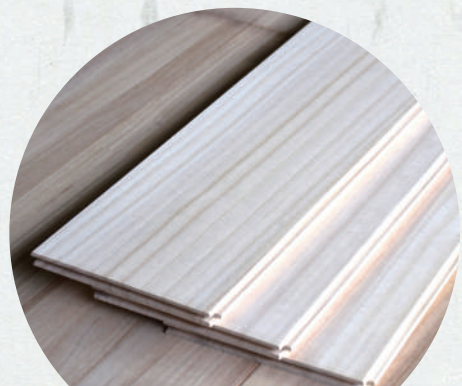
桐 カラー フロー リング

桐の温かさをそのままに
どんな色でも表現できる



あたたかい生活、やさしい時間

万葉集の時代から、現代まで生活の中にある桐。
日本人に愛されてきた桐は、「やわらかさ」「あたたかさ」
「調湿性」「防虫性」「軽さ」など素晴らしい機能を備えています。
私たちは塗料の総合商社として、現代の生活スタイルに取り入れ易い
『桐のカラーシリーズ』を作りました。
桐の良さの全てをそのままに、無限の色の提案が可能です。
古くから伝わる日本の心を、ぜひ貴方の生活に取り入れてください。



クリアーを使用して、桐本来の色味を活かした仕上げも可能です。まずは、何でもご相談ください。

私たちは、仕上げに細心の注意を払い、熟練の職人が
ひとつひとつ手作業で行っております。
常に暮らしと共にあるものだからこそ、こだわりたい。
ぜひ手で触れ、目で見て、その違いを実感してください。

桐の特長

温かさ



桐は一般的な木材とは異なり細かい空気層が密集して出来ていて、その空気層が断熱材の働きをします。そのため熱伝導率が低く体温を直に返すため、触れた時に温かく感じられます。

調湿性



桐は多孔質であり、調湿機能に優れています。昔から、桐のタンスは着物の保管にも最良とされ、大事なものの保存には桐が用いられてきました。

防虫性



桐に含まれるタンニンなどの成分を虫は嫌がります。虫がつきにくいので、昔からお米などの保管にも桐は使われてきました。

ほどよい 柔らかさ



桐は日本で一番柔らかい木材です。もし転んでも桐が衝撃を吸収してくれるため、お子様やご年配の方も安心して過ごせます。

高い復元性



その柔らかさゆえに凹みややすい桐ですが、それを補う高い復元力をもっています。水で濡らしアイロンをかければ、凹みもほとんど分らなくなります。

良い素材 のみ使用



私たちは『板目』ではなく『柀目』の材料しか使いません。柀目は板目に比べて一本の木からとれる量が少なく高価ですが、収縮や反りが少ない優れた材料です。長年使い続けることを考え、柀目の中でも良質なものを使用しております。

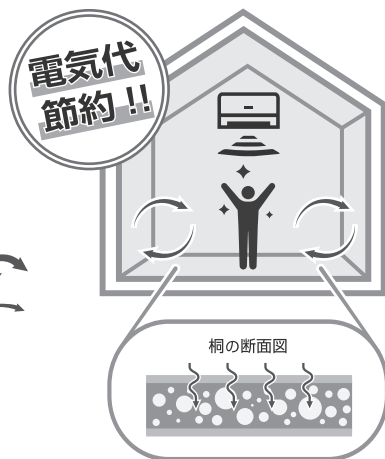
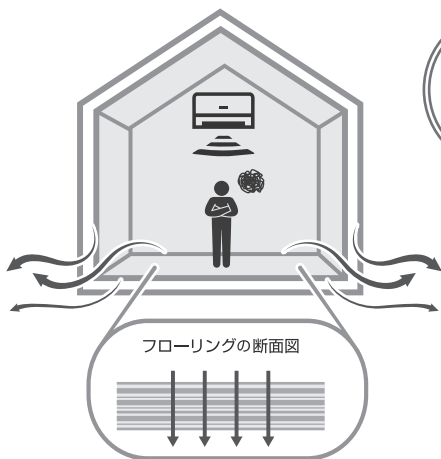
桐の断熱性能

フローリング

- 冬 熱を逃がしてしまい温まりにくい
- 夏 冷気が逃げやすく涼しくなりにくい

桐

- 冬 熱を逃がさないで温かい
- 夏 冷気が逃げにくいので涼しい



塗装後の防汚性

試験条件：滴下 24 時間被覆後に水ふき取り ◎異常なし ○若干痕跡 △痕跡

	桐カラーフローリング 使用塗料	一般品 自然塗料
醤油	◎	○
食塩水	◎	△
コーヒー※1	○	○
マジック※1	○	○
クレヨン	◎	◎
口紅	○	△
熱湯※2	◎	△

※1は、エタノールにて拭き取り

※2は、沸騰水滴下後ビーカーに熱湯を入れ15分間放置後に拭き取り

厚み×幅×長さ (mm)	入数
12×151×1818	12枚 (1坪=3.3㎡)

【注意事項】●カラーフローリングは紫外線により変色する場合がございます。直射日光の当たらない場所でご使用ください。●桐材は、伸縮する恐れがありますので湿度の低い状態で施工をしてください。湿度の高い状態で施工しますと、季節により隙間の生じることがあります。●この製品は床暖房の使用には適しておりません。床暖房対応品もございますので、ご相談ください。●はめ込み時は、やわらかい木(杉・松・スプルースなど)で当て木をし、隙間が無いようにタタキ込んでください。●天然木を使用しており1枚1枚色柄が異なります。施工前には必ず仮並べを行い、色柄のバランスを確認してください。●桐の特性を損なわないために、ワックスは使用しないでください。ベタつきや表面性能の低下の原因となります。●桐床の施工後は、傷や汚れを防ぐためにクッション性のある厚手の養生材や、発泡シートなどを敷き込み、さらにその上に段ボールやベニヤ板を敷き、十分に養生します。●砂・金づち、脚立の足などに注意し、厳重な養生をお願いします。(※原則的に土足厳禁としてください)●開梱時は梱包ケースの木口から引き抜かないでください。フロー表面を傷める可能性があります。●桐は湿気の多いところでは変色する可能性があります。赤→紫→黒に変色していきます。(桐の成分であるタンニンが表面に引き出されるためです)※タンニンは人体には無害でカビ・虫よけなどの成分と考えられます。●その他使用上のご注意について、詳細は別紙をご覧ください。

